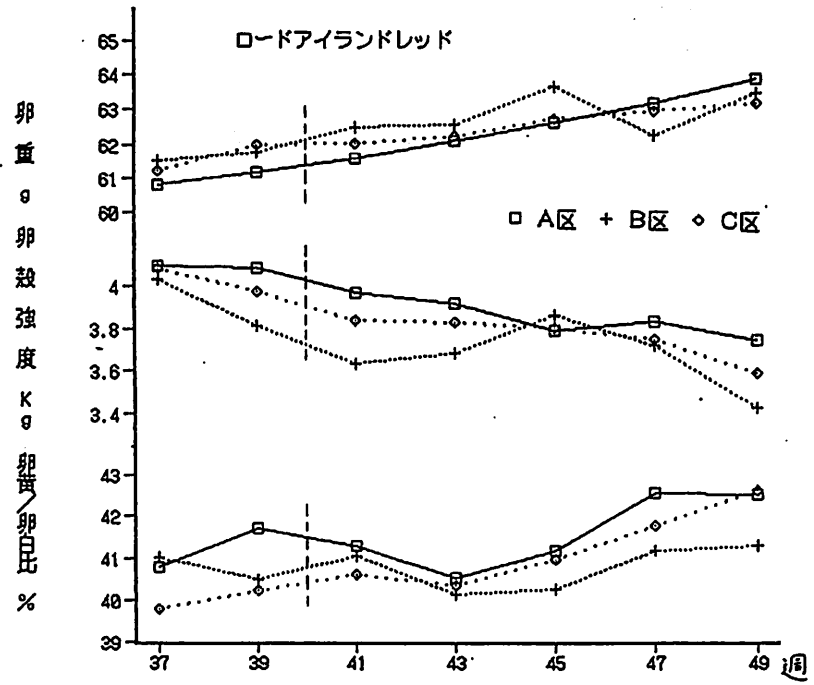
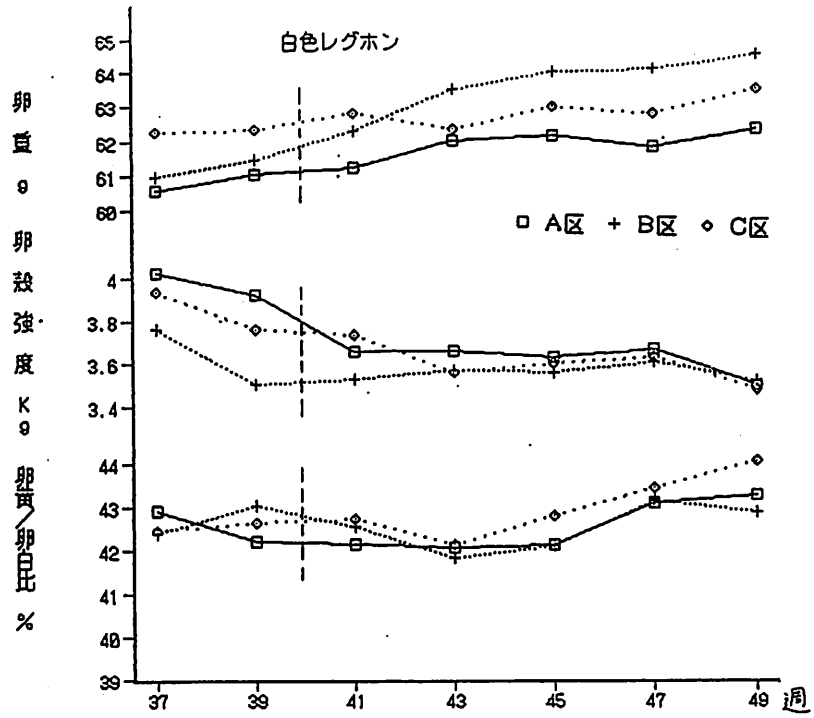


課題名	140 良質卵生産方式の確立	分類	③												
	低メチオニン飼料給与による卵質及び卵重の改善効果														
試験研究 年次	63~1年(完了)														
I 目的 低メチオニン飼料の給与によって、産卵後期における卵重増加と、これに起因する卵殻質低下を抑制し、卵殻が強く卵黄/卵白比の高い高品質卵の生産と、MLサイズの増加による収益向上を図る。															
II 試験方法 1 供試鶏：白レグ (銘柄シェーパー288) 390羽 ロード (＃イサブラウン) 234羽 2 試験区分： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区</th> <th style="width: 45%;">後期(40~64週) 給与飼料</th> <th style="width: 50%;">給与飼料水準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>低CP低メチオニン飼料(A)</td> <td>CP15% ME2,900Kcal メチオニン0.24%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>低CP標準メチオニン飼料(B)</td> <td>CP15 ME2,900 メチオニン0.32</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>標準飼料(C)</td> <td>CP17 ME2,800 メチオニン0.32</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ① 前期(22~39週齢)は各区ともCP17%,ME2,800Kcal,メチオニン0.32%の標準飼料を給与。 ② 各鶏種につき上記の表の構成で3反復を設定。</p> 3 調査項目：卵重、卵殻強度、卵黄/卵白比、産卵率、1日1羽当たり産卵量、飼料消費量、生存率、収益性 4 調査期間：昭和63年11月~平成1年8月				区	後期(40~64週) 給与飼料	給与飼料水準	A	低CP低メチオニン飼料(A)	CP15% ME2,900Kcal メチオニン0.24%	B	低CP標準メチオニン飼料(B)	CP15 ME2,900 メチオニン0.32	C	標準飼料(C)	CP17 ME2,800 メチオニン0.32
区	後期(40~64週) 給与飼料	給与飼料水準													
A	低CP低メチオニン飼料(A)	CP15% ME2,900Kcal メチオニン0.24%													
B	低CP標準メチオニン飼料(B)	CP15 ME2,900 メチオニン0.32													
C	標準飼料(C)	CP17 ME2,800 メチオニン0.32													
III 主要成果の概要 低メチオニン飼料の給与に対する鶏の反応は鶏種によって異なり、メチオニン含量を標準飼料の75%まで低めることは卵質の改善及び卵重の改善による収益性の向上に有効ではない。 各鶏種の反応は以下のとおりである。 <p>[白レグ]</p> 1 Aの低メチオニン飼料の給与により、卵重増加はやや抑制されるが、卵殻強度、卵黄/卵白比については改善されない。 2 MS・M・L規格の割合が増加し、卵重の斉一度合は高まるが、産卵率が低下するために収益性は悪くなり、粗収益が標準飼料区を上回るためには、低メチオニン飼料が標準飼料よりも7円/Kg以上安価であることが必要である。 <p>[ロード]</p> 1 低メチオニン飼料を給与しても、卵重増加は抑制されず、卵殻強度と卵黄/卵白比は改善されない。 2 産卵率は低下しないことから、ロード種に対しては、標準飼料より低いCP、低いメチオニンでも産卵性能を維持できる可能性が示唆される。															

IV 主要成果の具体的データ

第1図 卵重・卵殻強度・卵黄／卵白比の変化



第1表 産卵成績 (3反復平均)

鶏種	区	前期 (22~39週)				後期 (40~64週)			
		産卵率(%)	卵重(g)	日産卵量(g/日)	飼料要求率	産卵率(%)	卵重(g)	日産卵量(g/日)	飼料要求率
白	A	78.2(97)	57.9(99)	45.2	2.34	64.5(89)	62.8(98)	40.5	2.66
レ	B	82.7(103)	58.0(99)	47.9	2.22	* 69.4(96)	63.4(99)	44.0	2.46
グ	C	80.5(100)	58.5(100)	47.0	2.26	72.5(100)	63.9(100)	46.3	2.37
口	A	87.1(99)	58.9(100)	51.7	2.16	76.0(99)	64.0(101)	48.7	2.23
丨	B	87.5(100)	58.6(100)	51.5	2.19	* 72.5(95)	64.1(101)	46.5	2.28
ド	C	87.2(100)	58.9(100)	51.3	2.18	76.5(100)	63.5(100)	48.6	2.26

*
 注) ① B区は61~64週において異常があった。
 ② ()内はC区を100とした指数値。

第2図 産卵率

